

OKINAWA MUSIC FES



古謝美佐子
KOJA Misako



よなは徹
YONAHA Toru

新宿エイサーまつり協力公演

沖縄音楽 フェスティバル

出演：古謝美佐子 よなは徹 石垣優(ex やなわらばー) 城南海
構成・演出：佐原一哉

今年は四谷区民ホールで開催!



石垣 優
(ex やなわらばー)
ISHIGAKI YU



城南海
KIZUKI Minami

in YOTSUYA KUMIN HALL

2025年

7/26 (土)

17時開演
(16時30分開場)

四谷区民ホール
(新宿区内藤町 87 番地)

全席指定 4,500円 未就学児入場不可

※チケット販売の詳細は裏面をご覧ください。

主催：公益財団法人新宿未来創造財団 共催：新宿区
後援：新宿エイサーまつり大会委員会 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

新宿エイサーまつり協力公演

沖縄音楽フェスティバル

今年度は四谷区民ホールで開催！

真夏の新宿の風物詩「新宿エイサーまつり」の協力公演として2005年にスタートした「沖縄音楽フェスティバル」。沖縄出身の古謝美佐子を中心に、琉球音楽を愛するミュージシャン達と楽しむ夏の宴♪同日開催の「新宿エイサーまつり」とともに、真夏の新宿を盛り上げます！

古謝美佐子 KOJA Misako



1954年沖縄県嘉手納町生まれ。沖縄民謡女性歌手。9才でレコードデビュー。86年より坂本龍一のユニットに参加。90年より女性4名沖縄民謡グループ「ネーネーズ」にリーダーとして参加し6枚のアルバムなどを発表。1995年末に脱退後ソロ活動開始。ソロCD「天架ける橋」「廻る命」は高く評価され自作詞の守歌「童神」は多くの歌手にカバーされ21世紀の沖縄民謡の代表曲となる。また「うないぐみ」の活動では1枚のアルバムと坂本龍一との共作シングル「弥勒世界報」を発表。その他、文楽人形やモンゴル800など他アーティストとのコラボ公演やCD参加、映画「洗骨」出演(2019)、首里城守礼門にてヨーヨーマと共演(2021)など活動は多岐に渡る。初録音から60年目の2023年にソロCD「平和星☆願い歌」を、2024年にはユニット「古玉優海」のシングルCDを発売した。

よなは 徹 YONAHA Toru



1976年沖縄県北谷町生まれ。沖縄民謡界の中堅どころで随一の実力を持つ。民謡のみならず琉球古典音楽(野村流)の師範でもあり、歌、三線のほか、琉笛、太鼓、琉琴などをこなす唯一無二のマルチプレイヤー。また自身の創作活動だけでなく、各アーティストとの共演(2022年元 THE BOOM のギタリスト小林孝至氏との弦楽器duo「KUON」結成など)や津軽三味線とのコラボレーション等で幅広く活躍し、活動は国内以外ハワイ、アジア、北米、南米までに及ぶ。現在、沖縄大学非常勤講師。2020年よりRBCラジオ「民謡で今日拝なびら」のレギュラーパーソナリティを勤める。

石垣 優 (ex やなわらばー) ISHIGAKI Yu



沖縄県石垣島出身の女性シンガー。石垣島から上京後、幼なじみ女性ユニット「やなわらばー」を結成。2003年「青い宝」でデビュー。ドラマ主題歌に抜擢された「拝啓〇〇さん」、「いちごいちえ」などを収録したアルバム「歌ぐすい」がチャート上位にランクインするなど話題を呼ぶ。2020年11月に東京国際フォーラムでのラストライブをもって「やなわらばー」を解散。その後、ソロアーティストとして本格的に活動をスタートさせ、ソロ初となる楽曲「花ひら」が、清涼飲料水『CHOYA 夏梅』のCMソングに決定。2023年には、ソロとして初となるホールワンマンライブを開催。2024年1月に、『明治メイバランス MICHITAS』のタイアップ楽曲に「明日(あした)」が決定するなど、これまでリリースした楽曲の数々がテレビCMやテレビ番組の挿入歌に起用され、多くの人に歌を届ける。時代に左右されず、聴く人の心に響く唯一無二の歌声は自然と涙を誘う。

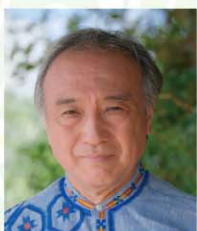
城 南海 KIZUKI Minami



1989年、鹿児島県奄美大島生まれ。奄美民謡、シマ唄をルーツに持つシンガー。2006年、鹿児島市内でシマ唄のパフォーマンス中にその歌唱力を見出され、2009年1月に「アイツムギ」でデビュー。代表曲は、NHK みんなのうた「あさな ゆうな」「夢待列車」をはじめ、NHKドラマ『八日目の蟬』の主題歌「童神～私の宝物～」、NHKBSプレミアム時代劇『薄桜記』の主題歌「Silence」、大河ドラマ「西郷どん」の劇中歌と大河紀行テーマ、2020年にはディズニー実写映画『ムーラン』の日本版主題歌「リフレクション」の日本版の訳詞、歌唱を担当した。テレビ東京「THEカラオケ★バトル」に2014年7月から出演し、番組初となる10冠を達成。2024年1月24日デビュー15周年記念アルバム「爛漫」発売。FUJI ROCK FESTIVAL '23にも出演するなど、毎年恒例のワンマンライブ「ウタアジビ」公演の他、さまざまな音楽フェスティバル、イベントに出演。

演出/構成

佐原一哉 SAHARA Kazuya



1958年福岡県北九州市生まれ。同志社大学卒業。音楽プロデューサー、キーボード奏者、作詞作曲編曲家。主に、沖縄の民謡や関西の河内音頭や江州音頭等、日本の伝統的大衆音楽と関り、プロデュースする。過去のプロデュースアーティストは『ネーネーズ』(沖縄民謡)『初代桜川唯丸』(江州音頭)『河内家菊水丸』(河内音頭)など。現在は主に沖縄民謡の『古謝美佐子』及び『うないぐみ』の総合プロデューサー。作曲家としては森進一、都はるみ、三波春夫、夏川りみ、中尾彬等に曲を提供する。代表作作曲「童神～ヤマトグチ」(夏川りみ)は2003年度日本レコード大賞金賞を受賞。CDレーベル「DISC MILK」主宰。その他、コンサートなどの企画、構成、演出、を始め、文楽人形と古謝のコラボ作品「吉屋チルー物語」の脚本や、映画「鬼に訊け～宮大工 西岡常一の遺言」や「洗骨」などの音楽を手がけるなど、多岐に活躍する。

【会場アクセス】※会場は四谷区民ホールです。

住所：新宿区内藤町87番地

地下鉄：東京メトロ丸ノ内線「新宿御苑前」

2番出口(大木戸門)より徒歩5分

都バス：品97 新宿駅西口～品川車庫「新宿一丁目」下車



【入場券取扱い】

全席指定 4,500円

※未就学児入場不可

【友の会先行販売】 4月22日(火) 10:00～電話・Web / 13:00～窓口

【Web販売】 4月25日(金) 10:00～

【一般販売】 4月30日(水) 10:00～電話 / 13:00～窓口

【プレイガイド】 5月1日(木) 10:00～(イープラス)

※プレイガイドは座席選択できません。

※新宿文化センター友の会の新規入会を中止しております。

※車椅子でご観覧のご希望は、下記問合せ先までお電話でご連絡ください。

※電話予約でチケットの郵送を希望される場合、別途チケット郵送料110円をご負担いただけます。

※チケットご購入の際に収集したお客様の個人情報は、チケット発券システム「Getii」および、当財団個人情報保護規定に基づき、適正かつ厳重に管理いたします。

※公演中止の場合以外のチケット払戻しはできません。また、紛失の場合も再発行はできませんので、ご注意ください。

※公演内容の変更および中止等が発生した場合は、新宿文化センターWebサイトにてお知らせします。最新情報を確認の上ご来場ください。



問合せ・チケット電話予約：新宿文化センター仮事務所 TEL:03-3350-1141 (平日9:00～17:00)

公演当日7月26日(土) TEL:090-9209-3028 (9:00～終演まで ※公演当日のみ受信可能)

主催：公益財団法人新宿未来創造財団

共催：新宿区

後援：新宿エイサーまつり大会委員会 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー